

献立ひとくちメモ

1月18日(水)



鏡開きのお話です。

鏡開きとは、年末から飾っている鏡もち（神様が宿っていたもち）を食べ、1年の無病息災を願う行事です。一般的には1月11日に行われることが多いですが、地域によって日付が異なります。鏡もちは飾られている間に水分が飛んで固くなっているため、割って小さくしてからお雑煮やお汁粉などにして食べます。鏡もちは年神様が座る場所なので、年神様の魂が吹き込まれているとされています。「切る」や「割る」といった言葉は縁起が悪いので、末広がりという意味を持つ「開く」を使い「鏡開き」というようになりました。

給食では、皆さんの健康を祈ってぜんざいを作りました。よい1年になりますように。